

当JAをご利用いただいている皆さまへ平成29年度の決算内容をお知らせします。

貯金残高は、**1,393億7,530万円**

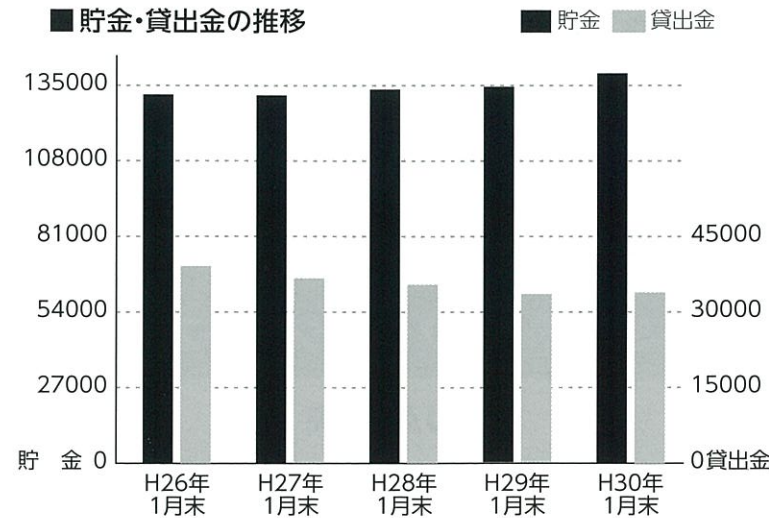
貸出金残高は、**339億6,666万円**

当期利益は、**1億7,558万円**

(平成30年1月末現在)

皆さまの温かいご支援、ご愛顧により、当JAの決算は上記の内容となりました。

また、過去5年間の当JAの業績の推移は右記のとおりです。



(単位:百万円)

	平成26年 1月末	平成27年 1月末	平成28年 1月末	平成29年 1月末	平成30年 1月末
貯金残高	131,748	131,314	133,715	134,203	139,375
貸出金残高	39,105	36,573	35,454	33,343	33,966
経常利益	186	159	256	296	231
当期利益	254	181	235	249	175

自己資本比率の高さが 経営の健全性を証明しています。

自己資本は、**91億4,502万円**

自己資本比率は、**14.60%**

(平成30年1月末現在)

自己資本比率は、経営の健全性を示す指数の一つで、金融機関の規模に対し手元のお金がどれだけあるかを表し、金融機関が自己責任を果たすための「体力」を示す重要な指数です。比率が高いほど健全な財務体質であるといわれており、自己資本比率の国内基準が「4.0%」であることから考えても、当JAの経営内容の充実が、おわかり頂けると思います。

どうぞご安心ください。リスク管理債権への対応も万全です。

■ リスク管理債権の状況

(単位:百万円・%)

	平成29年度
総貸出金額	(A) 33,966
リスク管理債権額	(B) 352
破綻先債権(未収利息不計上貸出金のうち法的破綻等している債権)	—
延滞債権(未収利息不計上先で破綻先債権、条件緩和債権以外の債権)	352
3ヶ月以上延滞債権(元本、利息の支払が3ヶ月以上延滞している貸出債権)	—
貸出条件緩和債権(条件緩和した貸出債権(上記以外の債権))	—
上記(B)のうち担保・保証で保全している額	(C) 260
担保・保証を差し引いたリスク管理債権額(B) - (C)	92
総貸出金額に占めるリスク管理債権額の割合(B) / (A)	1.03%
貸倒引当金	213

当JAのリスク管理債権の状況は、左記の表のとおりとなっておりますが、担保や保証および、貸倒引当金により財務の健全性確保に努めております。

注) リスク管理債権は農業協同組合法施行規則第204条に準拠して記載しております。